

No.

2023 年度 数学 科 年間学習計画表

山形県立長井高等学校

科目	数学乙	単位数	3	週時間数	6	年次・コース・組	3年一般文系
使用教科書 副教材等	数研出版『リンク数学演習 I A II B』ほか						

① 学習の到達目標

- 実践演習や大学入試過去問演習活動を通じて、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aおよび数学Bの体系的な理解を深める。
- 総合問題・分野融合問題の理解と技能の深化を図り、課題とされる事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばす。
- これまで学んだことの有機的なつながりを知り、知識技能を積極的に活用し数学的な考察を通じて判断する態度を身につける。

② 評価の観点、方法

- 学習活動への取り組み、課題の提出状況をもとに、数学で表現できることについて積極的に活用して判断する態度を評価します。
- 記述型式のレポートプリントの内容、学習内容の記録ノートの内容をもとに、学んだことを発展的に考えて、数学的な見方や考え方が身についているか評価します。
- 単元小テストの結果、演習振り返りシートの内容をもとに、学んだことを処理する仕方や事象を数学を用いて表現する技能が身についているか評価します。
- 定期考査・課題考査(JUMPテスト)の結果をもとに、授業で扱ったことの基本概念・数式を用いての処理など体系的に理解し、知識を身につけているか評価します。

③ 担当者から

- 前期開講の数学甲より応用問題を扱う比率が増します。また共通テスト近くには計測して実際の共通テストを想定した演習を行います。
 - 前期まで一通り身につけた基本事項をもとに、様々な典型問題を扱います。
 - 時間をかけて試行錯誤しながら考えることが大切です。間違えることも大事な過程ですので、自分の手で、納得するまで問題を解いてください。
- 注：3単位ですが後期開講科目により、週6時間実施します。

※ 前期反省

※ 年間反省

※ 次年度に向けて

④ 学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む）

月	単元名	教科書項目等	・主な学習活動(指導内容) ◎評価のポイント ○留意点	授業時数
4				前期中間Ⅰまで
				予定 0
5				実施 0
				前期中間Ⅱまで
6				予定 0
				実施 0
7・8		(後期から開始)		前期期末まで
				予定 0
9				実施 0
10	演習	大学入学共通テストに向けた演習	分野融合問題を解くことを通じて、これまで学んだことの有機的なつながりを知る。考えたこと、判断したことを数学的な処理での表現方法を知る。 ◎ 扱った典型問題の理解を通じて、類題が解けるようになる。 ◎ 実際に解いたことの記録と、友人・教員の解き方との比較でよりよい表現を身につける。 ○ 解き直しを行い、すべての公式・基礎問題に瞬時に反応できるようになろう。	後期中間まで
11		<後期中間試験>		予定 42 42
			実践演習を解くことを通じて、これまで学んだことの有機的なつながりを知る。考えたこと、判断したことを数学的な処理での表現方法を知る。 ◎ 計測して問題を解くことを通じて、共通テストで十分な点数をとれるための実力をつける。 ◎ 実際に解いたことの記録と、友人・教員の解き方との比較でよりよい表現を身につける。 ○ 解き直しを行い、すべての公式・基礎問題に瞬時に反応できるようになろう。	実施 0
12				
		<後期期末試験>		
1		個別学力試験に向けた演習		年度末
				予定 30 72
2・3				実施 0